

待ちに待った給食

ごはん 五目汁

ハンバーグ

ポテトサラダ

# 夢の華 ほぼ日刊 Character

第677号

神町中学校 夢色通信社

令和元7月7日

神中を代表して6名の生徒に、昨日から始まった「ドリカムたいむ」の成果と、テストに向けての決意を話してもらいました。

数学で、プラス・マイナスがついた数の計算ができるようになり、楽しかったです。友達と教え合い、楽しかったです。テストは自信がないけど、がんばります。

数学の連立方程式がわかるようになりました。テストに向けて勉強しているつもりですが、あまり自信はありません。勉強します。

二年 渡辺泉水

わかりやすく説明してもらい、筆者の考えていることが読み取れるようになった。苦手な国語で、点数をとりたい！

三年

菊地彰太郎

因数分解の難しい問題を、わかりやすく解説してもらいました。いつもと違う先生（尾形先生）で、新鮮だった。数学で点数がとれるように勉強します。

三年

相馬百々葉

数学に参加しました。学校を休みわからなくなった連立方程式が理解できるようになりました。自信がないけど頑張ります。

二年

佐々木優颯

「私は・する・〇〇を」という英語の文のならば方を勉強しました。理科は自信があります。英語が心配です。よい点数がとれるように勉強します。

一年 鈴木ひより

## たなばた



笹竹に短冊をつるして願い事をするようになったのは、江戸時代から。本来はサトイモの葉にたまった夜露を集めて墨をすり、その墨で文字を書いて習い事の上達を願います。サトイモの葉は神からさずかった天の水を受ける傘の役目をしていたと考えら、その水で墨をすると文字も上達するといわれています。ですから、短冊には「〇〇が欲しい」というような願いごとではなく、上達や夢を書いたほうがよいとされています。

